

武蔵浦和駅周辺地区義務教育学校開校準備委員会 本部会

第 3 回

令和 7 年 4 月 2 3 日

教育委員会事務局

武蔵浦和駅周辺地区義務教育学校開校準備室

- 1 本部会・ワーキンググループの令和7年度以降の活動見通しについて
- 2 各ワーキンググループからの活動報告について
 - (1) 校名・移行イベントより（校名公募について）
 - (2) 通学区域より（通学区域等について）
- 3 「未来の姿」についてのアンケート調査結果について

1. 本部会・ワーキンググループの令和7年度以降の活動見通しについて

会議資料 3

武蔵浦和駅周辺地区義務教育学校開校準備委員会 令和7年度の活動見通し(令和6年度の実績含む) (活動資料5)												
	(年度) (月)											
	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9
本部会	主に、本部会において意見交換するもの											
	各ワーキンググループからの報告を受けるもの											
校名・移行イベント	<ul style="list-style-type: none"> 校名について(校舎の呼び名)(ユニットについて) 開校式について 校歌について 校章について レガスペースについて 											
通学区域	<ul style="list-style-type: none"> 通学区域について 通学路について 通学方法について 											
カリキュラム	<ul style="list-style-type: none"> 各教科の指導計画について 日課表について 学用品について 部活動について 異学年交流について(児童生徒交流活動、委員会活動について) 学校行事について クラブ活動について 											
学校生活	<ul style="list-style-type: none"> 学校生活のきまり等について Solaる一むについて さわやか相談室について 											

令和7年度の活動見通し(令和6年度の実績含む) (活動資料5)												
	(年度) (月)											
	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9
学校地域協働	<ul style="list-style-type: none"> 学校運営協議会について PTAについて チャレンジスクールについて スクールサポートネットワークについて 											
給食運営	<ul style="list-style-type: none"> 給食施設について 給食室運営について 											
保健室運営	<ul style="list-style-type: none"> 保健室経営、学校保健に係る検討・案書の作成 関係機関(三師会)との学校医等委嘱等調整業務 保健室(施設)に係る検討・案書作成、予算要求等 諸帳簿に係る検討・案書の作成 学校安全等に係る検討 											
学校事務運営	<ul style="list-style-type: none"> 人事配置、学校事務システムについて 新校舎に係る必要物品調達について 沼影新設校舎の教室配置レイアウト、既存校舎改修について 校内インフラについて 校舎間物品移送について 											

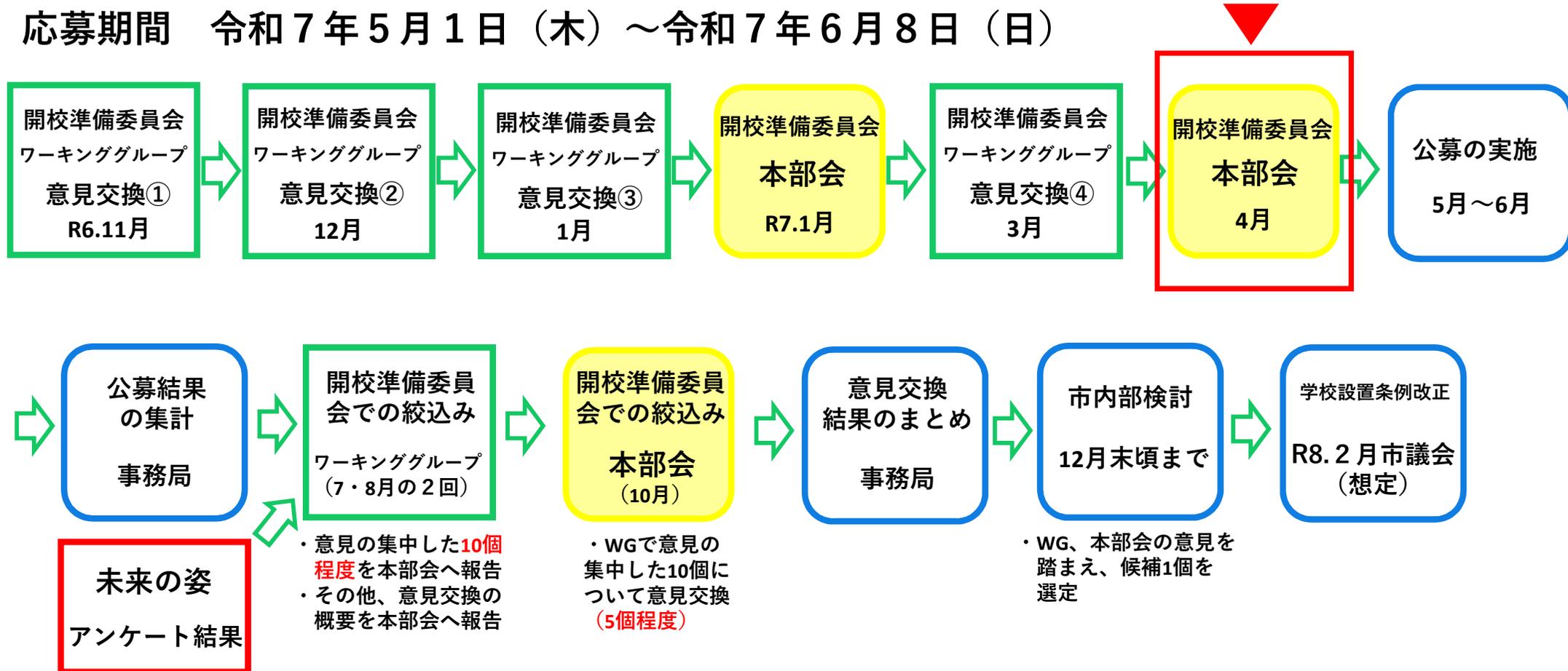
● ワーキンググループ開催日(予定も含む) ★ 市及び学校において、案として決定する時期

2. 各ワーキンググループからの活動報告 (1) 校名・移行イベントより (校名公募について)

- 実施日：11月18日（第1回）、12月18日（第2回）、1月15日（第3回）、3月19日（第4回）
- これまでのワーキンググループでの意見交換を受けて、校名アイデアの募集を実施します。

■スケジュール概要

応募期間 令和7年5月1日（木）～令和7年6月8日（日）



■選定基準

- ①地域性があり将来にわたって愛着が持てること。
- ②さいたま市における、既存の学校名と同一の名称でないこと。

2. 各ワーキンググループからの活動報告 (1) 校名・移行イベントより (校名公募について)

参考2

武蔵浦和駅周辺地区に設置する義務教育学校の

校名アイデア を募集します

応募期間
令和7年5月1日(木)
～令和7年6月8日(日)



本市では、令和10年度に本市初となる義務教育学校を設置します。浦和大里小学校・内谷中学校の既存校舎を活用し、義務1年生から4年生が通う二つの校舎と、新たに設置する義務5年生から9年生が通う「沼影新設校舎」をあわせ、3校舎で一つの義務教育学校とします。このたび、新校にふさわしい校名のアイデアを募集します。

応募内容	①校名(よみかた) さいたま市立「●●」義務教育学校の●●の部分募集します。(文字数は問いません。) ②校名の理由(校名に込めた思い)
注意事項	○新しい義務教育学校の3校舎の呼び方は、現在の校名を残して、「浦和大里校舎」「沼影校舎」「内谷校舎」とします。今回は三つの校舎を活用した義務教育学校全体の校名のアイデアについて募集します。 ○「浦和大里」、「沼影」、「内谷」について単体で使用した場合は無効となります。 例：さいたま市立内谷義務教育学校
応募期間	令和7年5月1日(木)から令和7年6月8日(日)まで
応募資格	どなたでも応募可能です
応募方法	【電子での応募方法】 右記2次元コードよりMicrosoft Forms(フォームズ)で応募してください。 【紙での応募方法】 応募用紙に記入のうえ、提出先にご提出ください。
校名の決定方法	○応募のあった校名のアイデアについて、開校準備委員会での意見交換を経て、教育委員会での校名に決定したのち、市議会の議決を経て、正式な校名となります。 ○本義務教育学校にふさわしい校名のアイデアを募集するものです。応募多数の校名になるとは限りません。 ○応募のあった校名の一部使用や、他のアイデアとの合成をする場合もあります。また、理由を参考に新たな校名を作成する場合もあります。
選定基準	(1)地域性があり将来にわたって愛着が持てること。 (2)さいたま市における、既存の学校名と同一の名称でないこと。
校名の公表	さいたま市ホームページ等で公表します。
その他	○採用された校名アイデアに関する一切の権利は、さいたま市に帰属します。 ○応募の際に記入いただいた氏名等の個人情報、校名のアイデアを募集する目的にのみ利用し、その他の目的には一切使用しません。 ○応募者への採否の結果通知及び個々のご意見に対する個別の回答はいたしません。 ○応募に係る経費は応募者の負担とします。
問合せ先	さいたま市教育委員会事務局武蔵浦和駅周辺地区義務教育学校開校準備室 住所：330-9588 さいたま市浦和区常盤6-4-4 電話：048-829-1627 FAX：048-829-1989 メール：musashi-junbi@city.saitama.lg.jp



【最新情報・検討経緯】

本義務教育学校の基本設計、開校準備委員会通信、「未来の姿」についてのアンケート状況等の最新情報については市ホームページでご覧いただけます。



むさしうらわえきしゅうへんちく せっち ぎむきょういくがっこう こうめい
武蔵浦和駅周辺地区に設置する義務教育学校の校名アイデア

おうぼようし 応募用紙

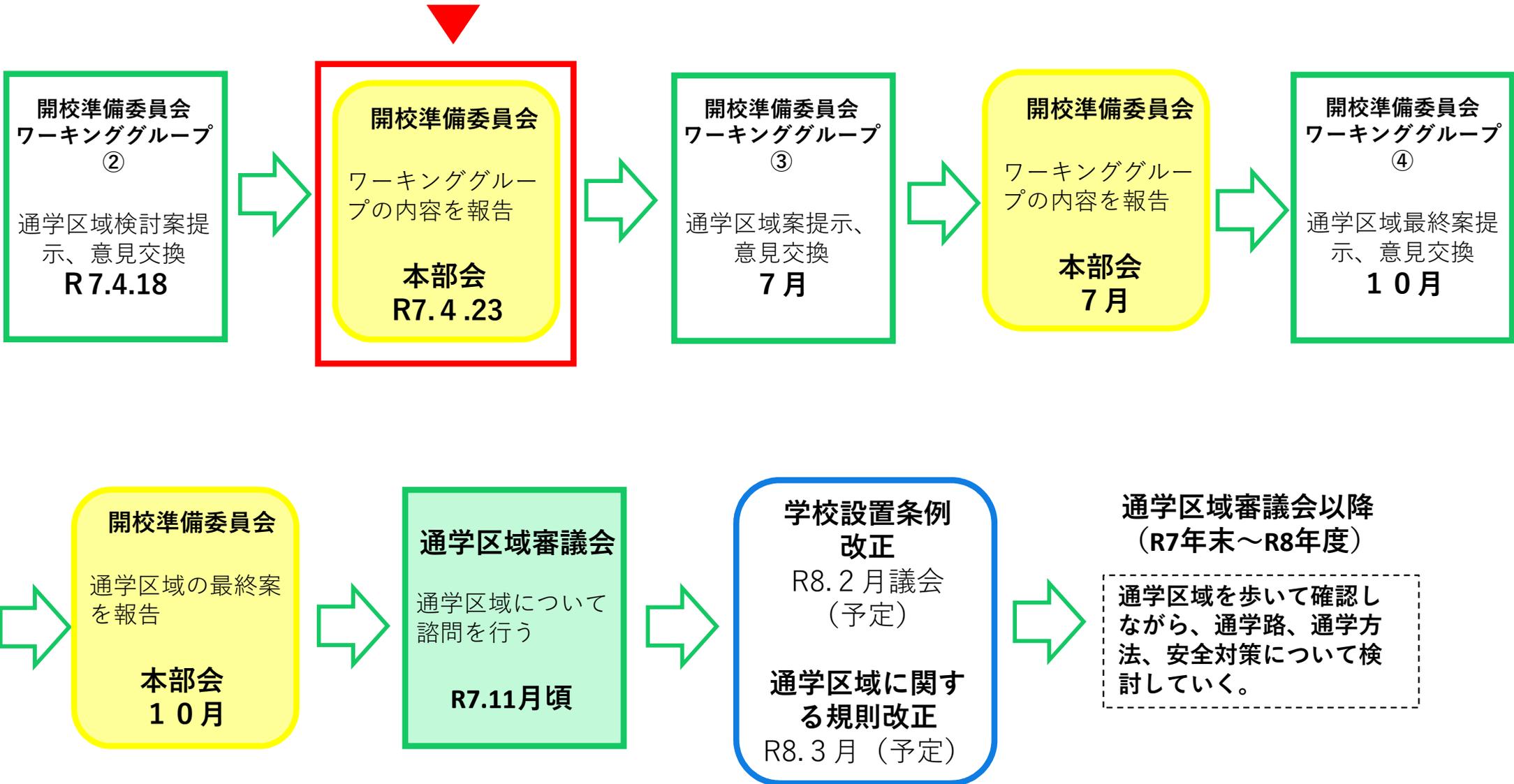
<p>こうめい ①校名アイデア</p>	<p>しりつ さいたま市立</p> <p>-----</p> <p>(よみかた：-----)</p> <p>ぎむきょういくがっこう 義務教育学校</p>
<p>こうめい ②そのアイデア とした理由</p>	<p>こうめい こ おも 校名アイデアに込めた思いなど</p>
<p>しめい 氏名</p> <p>-----</p> <p>①0～6才 ②7～12才 ③13～15才 ねんれいそう ④16～18才 ⑤19才～20代 ⑥30代 ⑦40代 年齢層 ⑧50代 ⑨60代 ⑩70代 ⑪80代～</p> <p>※あてはまる番号いずれか一つに○をつけてください。</p> <p>ばんごう ひと ●関係6校の ①在校生 ②卒業生 ③保護者 ④教育(学校)関係者</p> <p>ぞくせい 属性</p> <p>●上記①～④にはあてはまらない方 → ⑤その他</p> <p>※あてはまる番号いずれか一つに○をつけてください。 ※関係6校：内谷中学校、浦和別所小学校、西浦和小学校、辻小学校、沼影小学校、浦和大里小学校</p> <p>じゅうしょ 住所</p> <p>①さいたま市南区 ②さいたま市内南区以外(-----区) ③さいたま市以外</p> <p>※あてはまる番号いずれか一つに○をつけてください。</p>	

注意事項：回答項目に漏れがある場合は、応募は無効として扱います。

【提出先】紙で応募する場合は、以下の①～⑤の学校等に設置している応募箱に提出してください。
①内谷中学校(9:00～16:30) ②武蔵浦和図書館 ③別所公民館 ④西浦和公民館 ⑤田島公民館
※各施設のホームページ等で開館時間(営業時間)を事前に確認のうえご応募ください。
※応募用紙は、①～⑤の応募箱横に設置しているほか、市ホームページから印刷してご利用ください。

2. 各ワーキンググループからの活動報告 (2) 通学区域より (通学区域等について)

スケジュール



2. 各ワーキンググループからの活動報告 (2) 通学区域より (通学区域等について)

【ワーキンググループの概要】

■実施日：4月18日（第2回）

第1回目WG（R6.12月）での御意見を踏まえ、
①～③について意見交換を行った。

■参加者からの主な御意見

①D2エリアを本義務教育学校も選択できる特定地域に設定する開始学年について

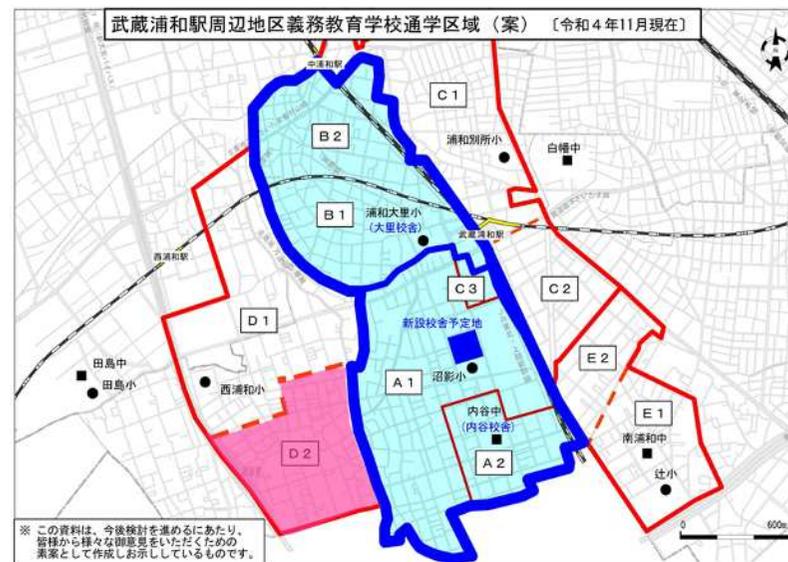
- ⇒ ・ D2エリアにおいては、一定数田島中を選択する家庭がいると考えられるため、義務教育学校を全家庭が選択するとは考えづらいのではないかと。
・ 9年間を一貫した教育活動を行うことを考えると小学1年生から選択するほうが良いのではないかと。
・ 小学1年生から選択できるとした場合、義務教育学校に魅力を感じて選択する家庭が増えると、内谷校舎等の教室数が不足してしまうのではないかと。

②沼影エリアを内谷校舎から浦和大里校舎へ変更する地区について

- ⇒ ・ 田島通りを渡ることを考えると、田島通りの北側（沼影1丁目1番～6番）が望ましいのではないかと。

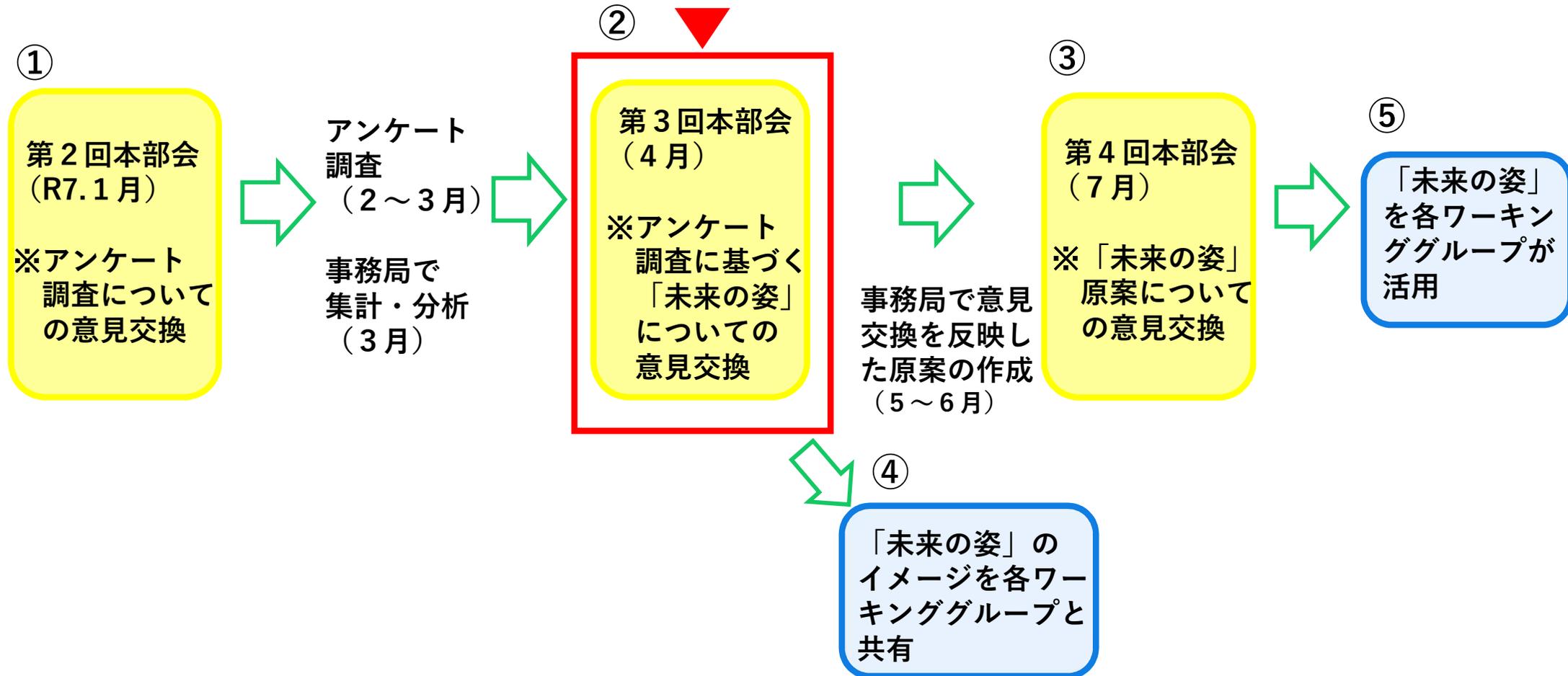
③B2エリアについて

- ⇒ ・ B2エリアの遠いところ（関地区）は2キロ以上かかる場所もあるため、今後、他の学校の通学状況を教えてほしい。



3. 「未来の姿」 についてのアンケート調査結果について

(1) スケジュール



3. 「未来の姿」についてのアンケート調査結果について

(2) アンケート調査の概要

■調査の目的

武蔵浦和駅周辺地区義務教育学校の開校に向けて、教職員・児童生徒・保護者・地域の方々の、本義務教育学校への思いや願いを理解し、地域に根差し愛される学校づくりを推進するため。

■調査対象：関係6校の学区に在住又は関係6校に通学、勤務している方

■調査方法：①Webによる調査 ②紙面による調査 ※自由記述方式

■調査期間：令和7年2月17日（月）～令和7年3月23日（日）

■調査項目：武蔵浦和駅周辺地区義務教育学校は令和10年度に開校を予定しています。
①皆さんが思い描く本義務教育学校の「未来の姿」と、②その回答に込めた思いや願いを、自由にお書きください。

■回答状況：合計 4151名 うち子ども 3532名（回答欄①②共に空欄：62件）
大人 619名（回答欄①②共に空欄：6件）
（内訳：学校運営協議会委員13名、教職員123名、保護者424名、地域住民56名、不明3名）

※保護者は、未就学児及び小・中学生の保護者を合計しています。また、子どもと一緒に回答した保護者も含まれています。

※地域住民とは、学校運営協議会委員、教職員、保護者以外と回答した人をいいます。

※子どもとは、児童と生徒を指します。子ども数は、保護者用調査で、「小・中学生」を選択した回答を含めています。このため、児童数と生徒数の内訳はできません。また、保護者用調査で回答した子どもは、在籍校を選択していないため、学校ごとの内訳はできません。9

3. 「未来の姿」 についてのアンケート調査結果について

武蔵浦和駅周辺地区義務教育学校「未来の姿」アンケート調査結果の分析案

【分析の目的】

アンケート調査の結果を分析し、教職員や保護者、学校運営協議会委員、地域住民の意見や願いを反映した「未来の姿」(学校像)を開校準備委員会本部会で検討する際のたたきとする

【分析の手順】

- 1 分析ツールによる「頻度の高いワード」の抽出
- 2 担当者による読み取り及び分析

【子ども(児童生徒)の回答】(3532名)

ジャンルごとの分析結果

1. 子ども(児童生徒)が学ぶ場として

- ・ 頻繁に言及されている話題: ①楽しく勉強②将来の可能性
- ・ 思いや願い: ①楽しく勉強することが、前向きに取り組むことにつながる①楽しく勉強できれば、学校は居心地のよいところになる②9年間を通して、一人ひとりの可能性を広げてほしい
- ・ 具体的な提案や要望: ①楽しく学べる授業の工夫等の環境づくり②9年間を見通したカリキュラム作成

2. 子ども(児童生徒)が学校生活を営む場として

- ・ 頻繁に言及されている話題: ①安心②個性尊重③あいさつ④協力
- ・ 思いや願い: ①いじめやけんかがなく、みんなが生き生きと安心して通える②多様性を認め合い、一人ひとりの個性を大事にできる③あいさついっぱい笑顔あふれる④協力し合って生活し、仲を深める
- ・ 具体的な提案や要望: ①いじめやけんかが起こらない環境づくり②多様性を受け入れる風土と個性を生かせる環境づくり③1年生から9年生までが一緒に考えるあいさつ運動④多くの児童生徒と職員がみんなで協力し合える学校行事

3. 地域の核(拠点)として

- ・ 頻繁に言及されている話題: ①地域交流
- ・ 思いや願い: ①地域との交流の時間を作って共に学ぶ②いざという時に支え合う
- ・ 具体的な提案や要望: ①地域交流イベントの開催②地域の人と一緒に学ぶ授業

4. 教職員の役割と働く場として

- ・ 頻繁に言及されている話題: ①教師の資質
- ・ 思いや願い: ①信頼でき、適切に関わってくれる先生
- ・ 具体的な提案や要望: ①教師と子どもの関係づくり②子どもが相談できる校内体制

頻度の高いワードの集計結果 ※分析ツールを用いて担当者が整理(1つの回答の中に複数回同じワードが出ている場合は、1回とカウント) ※助詞等、一部省略 ※10 回未満のワードは記載なし

学校(2645回 ※がっこうも含む)、みんな(887回)、地域(213回)、いじめ(207回)、安心(201回)、生活(192回)、学年(175回)、仲良く(178回)、学習(163回)、勉強(163回)、たくさん(159回)、交流(159回)、子供(115回 ※子どもも含む)、笑顔(110回)、個性(97回)、自分(94回)、協力(91回)、元気(91回)、生徒(88回)、場所(85回)、関係(78回)、時間(77回)、校庭(76回)、年生(74回)、安全(71回)、いろいろな(71回 ※色々も含む)、授業(67回)、喧嘩(64回 ※けんか、ケンカも含む)、きれいな(62回)、自由(56回)、仲(55回)、可能性(54回)、9年間(54回)、皆(52回)、小学校(52回)、ひとり(51回)、誰(48回)、場(47回)、一緒(46回)、先生(46回)、友達(45回)、あいさつ(64回 ※挨拶も含む)、意見(43回)、教育(43回)、全員(42回)、中学生(42回)、遊具(42回)、様々(42回)、毎日(41回)、今(38回)、発揮(38回)、互い(38回 ※お互い、たがいも含む)、プール(37回)、活動(37回)、行事(37回)、校舎(36回)、いろいろな(35回)、給食(35回)、小学生(35回)、良さ(35回 ※よさも含む)、差別(34回)、全体(34回)、環境(33回)、未来(32回)、芝(29回)、あかるい(29回 ※明るい等も含める)、のび(28回)、エアコン(28回)、気持ち(28回)、充実(28回)、クラス(27回)、運動(27回)、尊重(27回)、体育館(26回)、かわり(25回)、教室(25回)、大切(25回)、平和(24回)、人工(22回)、平等(22回)、本(22回)、義務(21回)社会(21回)、心(21回)、大人(21回)、中心(21回)、綺麗(21回)、エレベーター(20回)、年齢(20回)、部(20回)、仲良し(20回 ※なかよし)、スポーツ(19回)、成長(19回)、自然(18回)、図書室(18回)、登校(18回)、中学校(17回)、設備(16回)、カリキュラム(15回)、トイレ(15回)、機会(15回)、気軽(15回)、児童(15回)、将来(15回)、体育(15回)、コミュニケーション(14回)、集中(14回)、けが(13回)、快適(13回)、学園(13回)、施設(13回)、助け合い(13回)、得意(13回)、問題(13回)、イベント(12回)、グラウンド(12回)、ルール(12回)、人々(12回)、制服(12回)、清潔(12回)、体験(12回)、昼休み(12回)、ちゃんと(11回)、のびのび(11回)、便利(11回)、夢(11回)、利用(11回)、理科室(11回)、タブレット(10回)、以外(10回)、屋上(10回)、外(10回)、健康(10回)、視点(10回)、自転車(10回)、周り(10回)、大事(10回)

3. 「未来の姿」 についてのアンケート調査結果について

武蔵浦和駅周辺地区義務教育学校「未来の姿」アンケート調査結果の分析案

【分析の目的】

アンケート調査の結果を分析し、教職員や保護者、学校運営協議会委員、地域住民の意見や願いを反映した「未来の姿」(学校像)を開校準備委員会本部会で検討する際のたたきとする

【分析の手順】

- 1 分析ツールによる「頻度の高いワード」の抽出
- 2 担当者による読み取り及び分析

【大人の回答】 (619名)

ジャンルごとの分析結果

1. 子ども(児童生徒)が学ぶ場として

- ・ 頻繁に言及されている話題: ①カリキュラム②個別最適と協働的な学び③学びの質④多様性とインクルーシブ
- ・ 立場: 教職員、保護者
- ・ 思いや願い: ①9年間を見通した、義務教育学校ならではの系統立てられたカリキュラムを編成する②子どもが個別最適かつ協働的に学べる③学業のみならず人間力に富んだ子どもを育成する④在籍中には自分らしさを発揮でき、差別や分断のない社会を築ける人になってほしい
- ・ 具体的な提案や要望: ①小中一貫教育による指導のよさを生かして、子どもたちの発達に合わせた9年間の教育プログラムの導入②一人ひとりの子どもの長所を生かした、個別最適な学びと協働的な学びができる場の提供③小学生から専門性の高い教育と充実した体験活動を計画・実施④多様性を尊重し、誰もが輝けるインクルーシブな学校づくり

2. 子ども(児童生徒)が学校生活を営む場として

- ・ 頻繁に言及されている話題: ①安心②安全③いじめ防止④異学年交流
- ・ 立場: 保護者、教職員
- ・ 思いや願い: ①子どもが子どもらしく健やかにのびのびと安心して過ごせる①教職員の目が行き渡り、学習や生活面での困りごとや悩みごとに寄り添う②安全な登下校ができる②地域開放をしても、子どもたちの安全が保たれる③いじめがなく、毎日楽しく通える④異学年との交流を通じ、互助的な精神を育成する
- ・ 具体的な提案や要望: ①不登校等、困りごとや悩みごとを抱えている子どもたちが相談でき、居場所を見つけられるような学校づくり②交通ルールの遵守や学校周辺の道路環境整備等、安全対策の強化③いじめ防止のための具体的な対策と連携④小中一貫のよさを生かした異学年交流の機会の充実

3. 地域の核(拠点)として

- ・ 頻繁に言及されている話題: ①地域交流、地域との連携②地域の拠点(核)
- ・ 立場: 地域住民、学校運営協議会委員
- ・ 思いや願い: ①地域と交流・連携しながら実践的に学び、子どもたちの創造性や課題解決能力を育む②人生 100 年時代にふさわしい生涯学習や地域コミュニティの核となる学校、学ぶ喜びを生涯感じられることのできる街づくりに貢献する
- ・ 具体的な提案や要望: ①地域との交流イベントの開催①地域住民が参加できる学校行事の企画②地域(人材・企業・大学)の教育力をフル活用した教育の充実②地域住民が気軽に利用できるよう、図書館や体育館などの施設を開放し、地域コミュニティの活性化②生涯学習講座や地域イベントを開催②学校運営協議会を通して、地域住民の意見を積極的に取り入れ、開かれた学校運営

4. 教職員の役割と働く場として

- ・ 頻繁に言及されている話題: ①教職員同士の連携②働きやすい環境
- ・ 立場: 教職員、保護者
- ・ 思いや願い: ①小・中の垣根を越えたそれぞれの教職員の強みを活かす②教職員にとって魅力ある職場モデルにする
- ・ 具体的な提案や要望: ①教員同士のコミュニケーションを促進し、浦和大里校舎・内谷校舎・沼影校舎の教職員が連携を図りながら、系統立てられた教育を推進②教職員の質を高めるための研修の充実やスキルアップの機会を提供②学校の規模を長所ととらえ、事務作業の一元化や見直し、教材・教具の共有化等

頻度の高いワードの集計結果 ※分析ツールを用いて担当者が整理(1つの回答の中に複数回同じワードが出ている場合は、1回とカウント) ※助詞等、一部省略 ※10 回未満のワードは記載なし

学校(438 回)、子ども(361 回 ※子供や子供達、子、児童、生徒、小学生、中学生等も含む)、地域(175 回)、教育(115 回)、先生(62 回 ※教員、教職員、教師も含む)、場(59 回 ※場所も含む)、環境(50 回)、交流(50 回)、安心(42 回)、義務(39 回)、生活(39 回)、カリキュラム(38 回)、可能性(35 回)、学年(34 回)、学習(33 回)、安全(32 回)、小学校(31 回)、のび(28 回)、個性(28 回)、クラス(28 回 ※学級も含む)、活動(26 回)、保護者(34 回 ※親も含む)、良さ(25 回 ※よさも含む)、尊重(23 回)、多様性(23 回 多様も含む)、成長(22 回)、中学校(22 回)、みんな(21 回)、力(21 回)、お互い(21 回 ※互いも含む)、今(20 回)、大切(20 回)、様々(20 回)、異(19 回)、学力(19 回)、協力(19 回)、校舎(19 回)、発揮(19 回)、勉強(19 回)、自分(18 回)、中心(17 回)、年生(17 回)、連携(17 回)、関係(16 回)、社会(16 回)、授業(16 回)、必要(16 回)、充実(15 回)、全体(15 回)、いじめ(14 回)、プール(14 回)、施設(14 回)、人数(14 回)、都市(14 回)、学区(13 回)、拠点(13 回)、視点(13 回)、自由(13 回)、体験(13 回)、未来(13 回)、ひとり(12 回)、一貫校(12 回)、核(12 回)、確保(12 回)、学園(12 回)、行事(12 回)、年齢(12 回)、期待(11 回)、指導(11 回)、実現(11 回)、住民(11 回)、心(11 回)、対応(11 回)、意見(11 回)、経験(11 回)、時代(11 回)、人間(10 回)、選択(10 回)、大人(10 回)、利用(10 回)

3. 「未来の姿」についてのアンケート調査結果について

(3) 未来の姿 ～グループワークに向けて～

子ども（児童生徒）が学ぶ場として

9学年の幅広い交流の機会を通して一人ひとりの可能性を広げられる学校

多くの交流を通じ楽しく勉強でき居心地のよい学校

9年間を見通した義務教育学校ならではの系統立てられたカリキュラムが編成されている学校

9年間を通じて健やかにのびのびと安心して過ごせる学校

子ども（児童生徒）が学校生活を営む場として

多様性を受け入れる風土と個性を生かせる学校

教職員の目が行き渡り、子どもたちに寄り添う学校

安全に登下校ができ、学校内においても安全に生活できる学校

1～9年生が協力し合って生活し、仲を深められる学校

校舎間の交流を通じ互助的な精神を育成する学校

地域の核（拠点）として

共に学んだことが自分の住むまちの発展に生かせる学校

子どもたちの成長を地域全体が応援し、9年間をわくわく主体的に学べる学校

学校を中心にした絆が地域の力を高め、人々に安心と生きがいを与える学校

笑顔とあいさつで地域の交流が豊かになり、皆で助け合う気持ちが高まる学校

親しみと愛着で地域から愛され、誰にとっても生涯の学びの拠点となる学校

教職員の役割と働く場として

小・中・校舎間の垣根を越えたそれぞれの教職員の強みを活かす学校

子どもに信頼され、適切に関われる教職員集団である学校

9年間の成長をチームとして見守る学校

3. 「未来の姿」 についてのアンケート調査結果について

(4) 意見交換

■ 子ども（児童生徒）が学ぶ場として（メモとして使ってください）

■ 子ども（児童生徒）が学校生活を営む場として（メモとして使ってください）

■ 地域の核（拠点）として（メモとして使ってください）

■ 教職員の役割と働く場として（メモとして使ってください）

次回の本部会は
7月下旬開催予定です。

本日はご参会頂き、
ありがとうございました。